

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

インターンシップⅠは1, 2年次または3年次にインターンシップを体験しようとする学生のための授業である。ただし、授業でインターンシップ実習そのものを体験するのではなく、インターンシップ体験者である先輩や内定者である先輩、また企業経営に携わる実務家（企業人）とのコミュニケーションを通じ、就職に対する意識を高めることを目的とした指導を行う。また、民間企業にて採用人事を経験している教員が働くことと組織や法規等のルールについての基礎知識も講義する。

授業計画

第1回	事前指導	事前ガイダンス（インターンシップⅠの進め方）とインターンシップの意義
第2回		グループワーク（自己紹介・担当教員等とのディスカッション）
第3回		先輩との交流会（3年次生のインターンシップ経験者）
第4回		グループワーク（交流会の反省と課題のディスカッション）
第5回		先輩との交流会（4年次生の就職内定者）
第6回		グループワーク（働くことの意義に関するディスカッション）
第7回		企業人との懇談に備えた会社調べ
第8回		働くことと実務の基礎知識①（働くことと、組織が求める人物像）
第9回		グループワーク（就職に係わる時事問題のディスカッション）
第10回		働くことと実務の基礎知識②（労働法規と、組織で働くこと）
第11回		企業人との交流会
第12回		インターンシップなどの企業と接する上での注意事項やマナー等の確認
第13回	事後指導	様々な体験についての反省や今後（就活）に向けての課題の検討
第14回		課題レポートの作成とプレゼンの準備
第15回		（報告会）プレゼンテーション
第16回		「インターンシップⅠ 課題レポート」の提出

※ 内容は目安であり、受講人数やゲストとの調整などにより、適宜変更しながら実施します。

到達目標

- ・インターンシップに行くための様々な情報に触れることによる就業意識の向上と心構えの養成。
- ・大学1・2年次にすべきことを意識した就活に向けた目標の設定。

履修上の注意

- ・授業の目的が他の講義と異なるため、第1回目の授業に必ず出席すること。履修人数に上限があるため、第1回目の出席者の中からさらに人数を制限することがある。
- ・秋期の定期試験後に何らかのイベントに参加する場合があります。その場合には、通常授業期間の授業への出席と課題提出に加えて、2月中（予定）に実施されるそのイベントへの出席と、事後指導の受講（含む、プレゼン）が単位取得の条件になる。
- ・授業の趣旨から、3年次生・卒業年次生および一般企業に就職を希望しない学生は、登録を遠慮すること。
- ・授業ではグループワークを行うため、積極的な発言を求める。

予習・復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手する。
- ・復習：授業後に内容をレポートとしてまとめる。

評価方法

- ・受講姿勢を含めた平常点を50%と課題レポート・プレゼン50%の配分を目安として総合的評価する。
- ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応する。
詳しくは第1回目の授業でお話する。

テキスト

- ・特に使用しない。